

質問項目

①2030年に薬剤師業務における機械化・デジタル化は現在と比べてどう変化しているか。

②機械化・デジタル化が進んだ30年、薬局薬剤師は地域医療でどのような仕事を行っているか。

③30年に地域住民・他職種から評価されている薬剤師とは。そのために今から何をすべきか。

④アマゾン薬局が参入する動きがある。中小薬局が生き残るためには。

⑤現在、全国で6万軒の薬局は、30年には何軒になっているか。

薬局・薬剤師業務はどう変わる？

キーマンが予想する30年の姿

患者フォローがより重要に

ファルメデイコ社長 狭間研至氏

①現在よりも進んでいる。機械化が進むのは、決まり切った作業を行うこと

く。①現在よりも進んでいる。機械化が進むのは、決まり切った作業を行うこと

いうところだが、いわゆる医薬品の調製部分はさらに進む。

デジタル化が進むのは、繰り返しや手書き、リアルというところだろうが、発注や検品、書類

の作成のデジタル化や、オンライン服薬指導・医療は進む。

②(1)薬剤師の服用後のフォロー・アセスメント・フィードバック

いう3本の事業の柱を打ち立てられるようになってくるのが良い。

③(1)外来・在宅・OTCで服用後のフォロー、アセスメント、フィードバックができる

知識・技能・態度の修得(3)非薬剤師の研修と現場への投入が必要。

④薬を渡すまでの利便性を競うのではなく、手に入れた後のフォロー、アセスメント、フィードバックを磨き、薬ではなく健康の回復や症状の緩和を持続することを望む顧客を確実につかんでいく必要がある。



実(処方箋だけでなく、一般用医薬品、機能性食品、さらに、食品等の供給)(3)セルフメディケーションやセルフケアの充実——だろう。

⑤若下がるが(病院前の4軒が2軒になるなど)、ヘルスケアのフロントラインになっていけば5万軒程度はこの国にあるのが良いのではないか。

か。

外来、在宅、OTCと

FAFを実践するための